

令和6年度 日本大学 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書について



日本大学では、FD 活動に学生の声を反映させながら教育力の向上を目指すべく、平成 25 年度より、16 学部 87 学科、短期大学部 4 学科、通信教育部を対象に学生・教員・職員が一堂に会して学生 FD や本学の教育について理解を深め、気軽な雰囲気の中で語り合う「日本大学 学生 FD CHAmmit（ちゃみっと）」を開催しております。全学規模のイベントとなっており、例年、各学部等から 200 名以上の参加者を得て開催しております。

1 2 回目となる令和 6 年度においては、令和 5 年度に引き続き、完全対面方式で実施いたしました。アフターコロナとなり、ChatGPT など新たな技術も登場する中で、改めて大学で学ぶ意義等について話し合い、最終的に理想的な大学生活を送るために「学部に望む授業」を学部単位でまとめ、「学部提案書」を作成いたしました。

これを踏まえて、効果的な教育改善の実現に繋がるよう、各学部において学生との協議の場を設け、学生・教員・職員の三者で協議した上で、学部ごとに「学生への回答書」を作成いたしましたので、御覧いただきますようお願いいたします。

また、「学部に望む授業」のうち、特定の学部にとどまらないと思われる意見、全学的に改善を拡大できるとと思われる意見を、参加者（学生）視点で「全学に関わる項目」として抽出いただいたことを受け、以下のとおり回答いたします。

今後も日本大学では、教育の質や改善について検討を重ね、より良い教育環境づくりに努めていきます。

（★各学部の報告書については、下記リンクをクリックしてご覧ください！）

- [★法学部](#)
- [★文理学部](#)
- [★経済学部](#)
- [★商学部](#)
- [★芸術学部](#)
- [★国際関係学部](#)
- [★危機管理学部](#)
- [★スポーツ科学部](#)
- [★理工学部](#)
- [★生産工学部](#)
- [★工学部](#)
- [★医学部（附属看護専門学校）](#)
- [★歯学部](#)
- [★松戸歯学部](#)
- [★生物資源科学部](#)
- [★薬学部](#)
- [★通信教育部](#)
- [★短期大学部（三島校舎）](#)
- [★短期大学部（船橋校舎）](#)

CHAmmit 2024

日本大学 学生FD

CHAmmit
参加者募集

～魅力・強みの再発見～
”日大”をどう活かす？

CHAmmitとは、学生と教職員が学部の壁を超えて集まり、日大の教育や講義がどうしたら良くなるか話し合う場。「もっと日大を良くしたい！」そんな想いを持つそのあなた、この機会にぜひ参加してみませんか？

日時・会場

2024年9月29日（日）13：00～17：00
日本大学通信教育部1号館

エントリー期間

2024年9月13日（金）23：59まで

応募対象

大学院・学部・短大・通信教育部の学生

応募方法

こちらのQRコードから募集要項をご確認の上
ご応募ください

公式Instagram

募集要項

日本大学学務部学務課
日本大学FD推進センター

住所：東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館4階
メールアドレス：adm.aca.eps@nihon-u.ac.jp
事務取扱時間：平日：9時～18時、土曜：9時～13時

令和6年度 日本大学 学生FD CHAmiT 学部提案書における
「全学部に関わる項目」回答書



FD推進センター

1 はじめに

令和6年9月29日（日）に実施された「令和6年度日本大学 学生FD CHAmiT」において、参加者によるディスカッションを経て、学生から「学部に望む授業」の要望として、大学に「学部提案書」が提出されました。

これを受け、各学部において学生・教職員間で協議の上、検討・改善を進めているところですが、「学部に望む授業」のうち、特定の学部にとどまらないと思われる意見、全学的に改善を拡大できると思われる意見を、参加者（学生）視点で「全学に関わる項目」として抽出いただいたことを受け、以下のとおり回答いたします。

2 回答書作成のプロセス

今回、「学部提案書」の「学部に望む授業」の中から、参加者（学生）により「全学に関わる項目」として抽出いただいた意見について、その意見が出された「理由」を基に、全学的な取組みを、以下のとおり「能動的な学びへの要望」「他学部との交流への要望」「社会との交流への要望」の3つにまとめ、回答いたします。

3 日本大学学生FD CHAmiT 実施方法の改善

令和7年度からの日本大学 学生FD CHAmiT では、学生や教職員からの意見を受けて、従前の実施方法から改善することといたしました。具体的には、学部におけるFD活動を踏まえての学生FD CHAmiT実施とすることを予定しています。この方法により、更にステップアップした学生意見の集約ができるものと思料しています。

これまで、学生FD CHAmiTへ参加してくれた学生や教職員の意見・要望に対して、改善するための回答書を作成してきておりましたが、更に全学を挙げての教学イノベーションへとつながるように発展的に学生FDに取り組んでいきたいと考えています。

4 要望に対する回答

① 能動的な学びへの要望

【意見の「理由」】

- ・学生自身で企画・発案したい
- ・学生自身で課題を克服する力を身に付けたい
- ・学生が説明する力をつけたい・グループワーク、ディスカッション、フィールドワーク、フィールドリサーチ及びアクティブラーニング等を積極的に実施したい
- ・他学部・他学科と共同で一つの課題に取り組みたい

【回答】

日本大学自主創造プロジェクト

本学では、日本大学教育憲章「自主創造」の3つの構成要素「自ら学ぶ・自ら考える・自ら道をひらく」能力を実践の場を通じて高めるとともに、学部間交流を通じて多様性に対する気付きを与え、自らの学修をより深化させるための一助とすることを目的とした「日本大学自主創造プロジェクト」を募集しています。2学部以上かつ5名以上の学生が参画する学生発案型の課外活動に対し、資金を支援する取組みです。採択されたものには学部の専門領域にとどまらないユニークなプロジェクトも多く、学部を超えた協働のきっかけとしていただけます。また、活動報告会として自分達が実施してきたプロジェクトを発表する機会を設けており、通常の授業だけでは経験することができない独創性・自主性を磨く場としていただけますので、是非御応募ください。

<日本大学自主創造プロジェクト HP>

https://www.nihon-u.ac.jp/students_first/cooperation/

オナーズプログラム「N. 教学イノベーション推進プロジェクト」

また、学部や分野を超えて学修意欲が高い学生が参加して一つのテーマを議論するオナーズプログラム「N. 教学イノベーション推進プロジェクト」を開始いたしました。第1回は令和6年12月に開催され、講演の部では各分野の専門家が一つのテーマに対してそれぞれの観点から解説を行い、討議の部では学生がグループに分かれてディスカッションが行われました。テーマを変えて年間複数回開催を予定していますので、今後も是非御参加ください。

<トピックス「本学初・オナーズプログラム「N. 教学イノベーション推進プロジェクト」が始動」>

<https://www.nihon-u.ac.jp/topics/2024/12/15051/>

② 他学部との交流への要望

【意見の「理由」】

- ・学部・学科を超えて授業を受講したい
- ・学部を超えた繋がりを持つことで知見を広げたい

【回答】

日本大学ワールド・カフェ

本学では、学生からの「他の学部の学生と交流したい」というニーズに応え、全学共通教育科目「自主創造の基礎」の授業として、16学部・短期大学部の1万6千を超える学生が混在してグループワークを行う「日本大学ワールド・カフェ」を実施しています。他学部の学生と意見交換を行うことで知見を広げるきっかけとしていただけますので、まだ履修していない方は是非御参加ください。

<日本大学ワールド・カフェ HP>

https://www.nihon-u.ac.jp/students_first/world_cafe/

日本大学 学生FD CHAmiT

日本大学の教育改善に学生の声を反映させることを目的とした全学イベントである「日本大学 学生FD CHAmiT」も、学部を超えた繋がりを持つことのできる機会となっています。

本学の教育について理解を深め、学部・学科を超えて語り合うことにより、自分の知見を広げるきっかけとさせていただきますので、是非御参加ください。

<日本大学 学生FD CHAmmit HP>

<https://www.nihon-u.ac.jp/fd-center/fd/fd-chammit/>

全学共通教育科目「日本を考える」「データサイエンスの世界」

本学では、全学共通教育科目として「日本を考える」「データサイエンスの世界」及び「自主創造の基礎」を設置しており、全学的に他学部との交流が可能な科目となっています。

なお、前述の日本大学ワールド・カフェは「自主創造の基礎」において最も他学部との交流を意識した授業回として設定されています。

「日本を考える」については、コロナ禍の影響等もありオンラインでの授業実施をせざるを得ない状況が続いていましたが、令和7年度からは夏季集中の対面形式での実施を予定しており、履修者が対面形式で日本の歴史・文化や社会問題等をテーマとしたディスカッションを行うことがメインの科目として設定していますので、是非履修登録していただき、他学部学生との交流を図っていただければと思います。

「データサイエンスの世界」については、令和7年度から開講する新たな科目として設定されており、全学LMS Canvas を利用したオンデマンドが主体の科目ではありますが、各学生が作成した動画を発表し、ディスカッションを行い、学生同士でピア評価することを予定しています。こちらについても是非履修登録を行っていただき、これまでとは異なる方法での学部を超えた繋がりを経験していただければと思います。

達成体験型学生交流企画「学生交流リアル宝探し in 軽井沢」

令和4年度から始まったこの企画は、課外での交流促進を図る学生交流企画です。夏季期間に1泊2日で本学の軽井沢研修所とその周辺エリアを利用したプログラムで、1日目は、学部の異なる初対面の学生3～4名が1グループとなり、謎解き・宝探しのウォークラリーを通じて交流を図り、2日目は、自由なテーマでのディスカッションやレクリエーションを行うことで、参加者の交流を図るという内容になっていますので、まだ参加したことのない方は是非御参加ください。

日本大学自主創造プロジェクト

上記の「① 能動的な学びへの要望」にも記載のとおり「日本大学自主創造プロジェクト」についても、他学部の学生と交流できるきっかけとなる事業ですので、是非御応募ください。

<日本大学自主創造プロジェクト HP>

https://www.nihon-u.ac.jp/students_first/cooperation/

留学生交流企画

令和6年度に留学生を対象とした学部間交流企画を開催しました。第1回は屋形船で日本文化を体験するプログラム、第2回は日帰りバス旅行で箱根へ行き、かまぼこ作りを体験しました。令和7年度は対象を留学生だけでなく、日本人学生との相互交流とすることを現在

計画しています。学生間交流の機会が少ない留学生が優先とはなりますが、実現した際は是非御参加ください。

③ 社会との交流への要望

【意見の「理由」】

- ・専門的な分野で働いている方の話を聞ける機会が欲しい
- ・自分の専攻にとどまらず思考の可能性を広げたい
- ・自分が社会に出たとき、将来のイメージをつかみたい

【回答】

理事長・学長セレクト講座

本学では学内限定イベントとして、各業界の著名人を迎えて講演いただく「理事長・学長セレクト講座」を実施しています。漫画家、脚本家、作家、芸人、テレビプロデューサー等、多岐にわたる著名人に講演いただいております、各業界の話を聞くことができる機会です。その専門領域を専攻している学生、その業界を目指している学生に限らず聴講できますので、是非御参加ください。

日本大学合同企業研究会・就職セミナー

本セミナーは、総合大学である日本大学ならではの就職支援プログラムの一つです。例年、3月の企業の広報活動解禁に合わせ東京国際フォーラムで開催され、幅広い業界から200を超える企業・団体が参加しています。参加企業・団体の中には、本学卒業生も多数参加し、後輩に向けて様々なアドバイスを行っています。本セミナーはキャリア教育の一環として低学年生も参加することができ、将来を考える上で貴重な機会となっておりますので、是非御参加ください。

公務員特別セミナー

「公務員に強い日大」の特長的なプログラムとして、本学卒業生の現職公務員や、公務員試験に合格した先輩が後輩向けに、なぜ公務員を志望したのか、どのような試験対策を行ったか、公務員の魅力は何かなどを事務系・技術系・公安系に分かれてパネルディスカッション形式で開催しています。アーカイブ配信も行っておりますので、是非御覧ください。

<日本大学公務員情報サイト>

<https://sites.google.com/view/nukoumuin/>

公務員面接ワーク&実践講座

公務員試験を受験予定の3年生を対象に、全学部を対象とした面接対策講座を実施しています。その際には、本学卒業生の現職公務員や公務員試験に合格した先輩がアドバイザーとして多数参加し、エントリーシートや面接のアドバイス、仕事に関する質問など様々な相談に対応しています。詳細は<日本大学公務員情報サイト>を御覧ください。

産官学連携人材育成プロジェクト

本学では、正課外教育の一環として、企業や地方公共団体にご協力いただき、日本大学の他学部生とともに、目的（課題）達成のための「チーム対抗戦による体験型ワークショップ」を行っています。企業の抱える課題などをテーマに、グループワークで社員へのヒアリングや問題点の抽出、対応策の検討をし、プレゼンテーション形式で社内・社外向けに発表などを行います。

その過程を通してどのような職業においても必要となる能力（情報収集能力・情報分析能力・企画立案能力・プレゼンテーション能力等）を養うことができます。学部や学年による制限はありません。社会人として必要とされる能力を身に付けることを目的にしていますので、就職先として志望する業界や職種に関わらず参加可能です。

就職活動や社会人として必要な能力を身に付けたい方のエントリーをお待ちしています。

<日本大学産官学連携人材育成プロジェクト>

<https://sites.google.com/view/jinzai-ikusei/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

校友会会報誌『桜縁』

本学校友が社会において多方面で活躍する姿を描いています。

桜縁〔O U E N〕ゼミナール

会報誌『桜縁』で紹介した方々を講師として、「世代や地域を超えて」学びあう喜びを実感いただくため、本学卒業生及び学生を対象とした講座を開講しています。

以 上